

広報



No.337

しらす

平成10年

11月号



火の用心は
日頃の心がけから

10月19日(月)から25日(日)にかけて「気をつけてはじめはすべて小さな火」を統一標語に「青森県秋の火災予防運動」が開催され、市浦村では初日の19日に火災予防パレードが行われました。

当日は、市浦消防署、消防団、婦人防火クラブ、幼少年消防クラブが参加して行われ、市浦営林署前から市浦村役場までをパレードし、地域のみなさんに日頃の火災予防の重要性を呼びかけていました。

平成10年度 市浦村褒賞受賞式

市浦村では公共の福祉増進に功労のあつた人や広く村民の模範となった方々を表彰し、その功績をたたえています。今年も文化の日にあたる十一月三日、「平成10年度市浦村褒賞受賞式」があすなるホールで開催され、五名が受賞されました。



▶写真左奥から、三和幸夫さん、青山香さん、吉田録美さん、左手前から三和芳次さん、高松村長、浜田議長、湯浅政蔵さん



▲受賞者を代表して謝辞を述べる三和芳次さん(写真左)

褒賞受賞式当日は受賞者をはじめ、村議会議員、各種団体長等が出席し、まず高松村長が「これまで各方面にて活躍されてきたみなさんに感謝します。激動の時代にあつて、小さくてもキラリと光るムラづくりをめざすために、今後もより一層のご協力をお願いします」と式辞を述べ、受賞者の一人ひとりに賞状を手渡し、長年にわたる功績をたたえました。

続いて受賞者を代表して三和芳次さんが「地域の再構築を図り、住み良い地域を作るため、これまでの経験を生かし、より一層精進をしていきたい」と謝辞を述べました。
今回受賞された皆さんは式典終了後に行われた受賞パーティーの中で、今後もそれぞれの分野での活動を通じて、これまでに以上に地域に貢献していくことを誓い合っていました。

— 地域医療の向上をめざして —

テレビ会議システム

導入

この度市浦診療所では、医療機関相互の情報交換やネットワークづくりを進めるためにテレビ会議システムを導入。今後の医療活動に大きな期待が持たれています。

その場にながら会議や研修が可能に

この度、地域医療の質を向上させようと、百石病院を中心とした自治医科大出身の若手医師のグループがEBMの研修会を発足しました。この研修会には市浦診療所の岩村有泰所長も参加しており、そのための手段と



▲テレビ会議システムのテストをする
高松村長(写真手前)と岩村所長(写真奥)

EBMとは

「Evidence Based Medicine」の略で、個々の患者の治療について個人の経験や勘に左右されずに、あらゆる研究成果や実証的な根拠 (evidence) を用いて、効果的で質の高い患者中心の医療を実践するための手段です。

してテレビ会議システムを採用。県内では、市浦村の他に、県病、百石町、田子町、六ヶ所村に設置・接続されており、この他にも自治医科大をはじめとした県外の医療機関と接続されています。

診療所のように、小規模な施設に勤務する医師は、なかなか持ち場を離れることができません。お互いのスケジュール調整が難しい等の問題から、研修や各種会議に参加できる機会が少なくなりがちでしたが、テレビ会議システムの導入によって、時間・距離・スケジュールの制約を受けずに、職場にいながら各種会議、研修会、情報や意見の交換

漫画の中でしか
できなかった夢
が実現

ができるようになりました。

今回採用されているシステム

はNTT製マルチメディア(A)会議システムで、名称は「フェニックス」。これは電話回線を使ったテレビ会議システムで、市浦村に導入されたのはパソコンに接続するタイプでしたが、電話機と一体型になったタイプも製品化されています。

これまでも静止画によるテレビ電話システムは市販されていましたが、これは動画による表示が可能で、音声も鮮明。ただし、画像は大量のデータが必要で、現時点での技術では大量のデータを送受信することは難しいために実物とは若干の色違いがあり、動画も若干の遅れが生じていますが、かつて漫画の中でしかできなかった「テレビ電話」が実現することになりました。

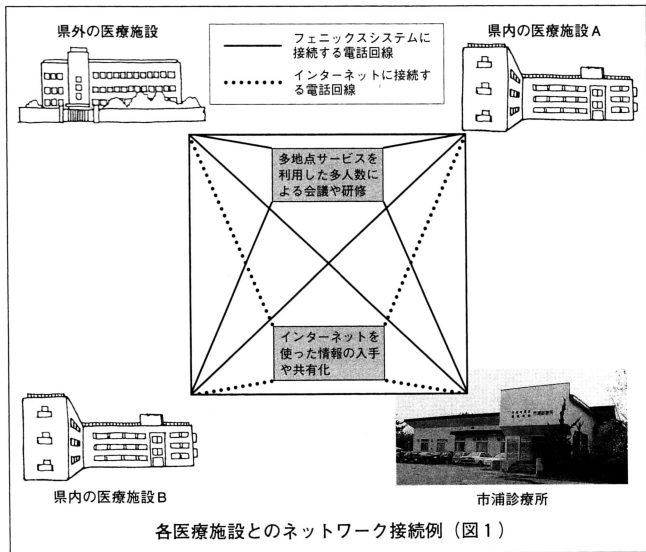
利用できるのは一対一はもちろん、複数による大規模な会議も可能(図1参照)。また、パソコンを使用して、患者それぞれに最も適した治療法を検討するために、インターネ



▲相手の表情を見ながら会議ができました

特に、診療所などのように、一人の医師に総合的な医療知識が求められた場合、必要とされるさまざまな知識を得ることが可能となりました。また、他県での事例として、遠隔地にあるために往診が難しかった特養護老人ホームにテレビ電話システムを利用して助言が行われた例もありました。また、医療関係以外にも積極的に活用されており、大手予備校の通信教育、英会話教室の授業等に活用もされています。

市浦診療所には十月十九日に導入され、当日はこのシステムを使って高松村長と百石病院の副院長である川原田恒氏による対談が行われ、対談の中で高松



村長は「将来はこういったシステムが各家庭に一台づつ置かれるようになって、防災無線を初めとした各種情報の伝達がスムーズに行われるようになってほしい」と話していました。

このように、市浦村においては医療関係を中心とした利用が中心となっていますが、将来は様々な分野に活用できることが期待されています。

テレビ会議システムの導入にあたって

市浦診療所長 岩村 有泰

今回このテレビ会議システムを使って、我々の仲間間で勉強会を行いたいという希望をくんでいただき大変ありがたく思っております。研修の機会の少ない我々にとっては、このシステムの有効活用が、日常診療の強い武器になってくれることでしよう。



▶テレビ会議システムに期待をかける岩村所長(写真右)と吉田技師(写真左)

宅とテレビ電話で結び、在宅医療の強化などを旨指したいと思っております。

(※) マルチメディア
映像・音声などが複合した媒体。
(※B) インターネット
世界的な規模で結ばれたコンピュータ通信網。
(※C) データベース
コンピュータでいくつものデータを構造化して各データの検索や更新を効率化したもの。

「青森県あすなる農村女性 ドリームフライトに参加して」②

工藤 富子

八月三十一日にドイツからスイスに渡りました。スイスはヨーロッパ大陸の中央部に位置するアルプス山脈北側の内陸国で、西からフランス、ドイツ、オーストリア、イタリアとそれぞれ国境を接している。スイスはアルプスなどの山岳地域が多く、国土の四割は、海拔千三百メートルを超える山脈が占める。そのため、放牧を中心とした山岳農業が主で、耕地は、平坦な中央低地にわずかに集中しているにすぎない。農用地は全体で二

百二二万ヘクタールで、一九八九年、国土面積が占める割合は四十九％だが、放草地が百六十・九万ヘクタールと実に八十八％を占めている。スイスのチェーリッパでは、酪農業を見学しました。フリックス、ニコルさんという酪農家で、耕地面積は三十五ヘクタールとケタはずれの面積を持っている大農家です。放草地、畑、りんご、森林、ラスベリ、牛乳の他、家には直営店を開き、野菜、くだもの、チーズ、パンなど販売している。

中規模農家ではペニ一さんの家に見学に行きました。この家では、一年前に酪農家をやめ、牛舎を改装し、結婚式、パーティーなどの催しに提供している。作物は、主にじゃがいもを作付けし農政の転換で売れる物を優先して栽培している。また、いんげん、ほうれん草は、冷凍して売



▲ベルサイユ宮殿の庭にて

つている。ひまわりは

油に、大豆はとうふにして業者に売る。ぶどうはワイン用として六千本のワインを作っている。通常は二人で働き、忙しいときだけ雇用を入れている。農機具の五十％は、共有で使用し、個人では買わない。酪農と畜産を中心とする農業条件は、決して恵まれていない。

九月一日には、ベルンの青空市場を見学。山地の小さな町であるベレンは、冬を除く毎週土曜日には、町中が朝市になってしまふ。特に国会議事堂前があるブンデス広場から、ヴェーレン広場までは、お祭りのようなにぎわいを見せている。議事堂前は、週二回で、毎日広場で行なわれ、市場と分離されている。品物は、野菜や果物、パン、花、衣類他、特に私の目を引いたのは、トマトです。市浦のトマトと違い小粒で、へたのついた物、つかない物、三から四個房のついで売っている物など、さまざまです。こういうトマトでも売れるのかと思うと、消費者の価値観に戸惑いました。

スイスを後に、フランスへと渡る。フランスは、ヨーロッパ大陸の西部に位置し、北西の方向にイギリスを望み、北は、ベルギー、ルクセンブルク、ドイツ、東はスイス、イタリア、南



産業まつり盛大に終わる

大安売りの声に、溢れる人、人、人

かみのくに
情報ランド

友好町村たより 24

第十七回産業まつりが十月四日、役場前広場で盛大に開催され、町内外から約三千八百人が押しかけ、地場産の牛肉や野菜、鮮魚などの農産物をはじめ、衣料、日用雑貨、暖房器具など、目当ての商品を買い求めていました。

友好町村の青森県市浦村、滋

賀県安土町からは数々の特産品が出品され、市浦村十三湖特産のヤマトシジミ、安土町のポトスなどの観葉植物は数時間で完売する盛況ぶりでした。この他にたまさこいソーラン踊りや、サケのつかみどり、地場産品の品評会など様々な催しが行われ、会場は賑わいを見せていました。



▲大好評！さけのつかみどり



▲町村外からたくさんの方が集まりました



▲エッフェル塔

工を始めジャム、

りんご、アップリ
コ、ブルーベリー
十二ヘクタール
の畑があります。
りんごは市場で、
妻と二人それぞ
れ別れて、直売
されている。一九
八九年からは加

はスペインと国境を接し、北西
部と西部は大西洋に、南部は地
中海に面している。耕地面積は
E.C全体の二十七％、小麦、大
麦、とうもろこし、青刈飼料の
生産に特化しており、樹園地は
ほとんどがぶどう園で、E.C全体
の十一％を占める。近年穀物、
てん菜、ぶどうが過剰で、栽培
面積は減り、かわって油桐種子、
飼料作物、豆類の栽培面積が増
えてきている。

品質の良い物を
置いている店に
は、行列が出来
て、安くて出品
質の悪い店には
お客がいませ
ん。午後パ
リの郊外のりん
ご農家を視察し
ました。ここで
は、三月月雨が降らない時が
あるので、りんごの木一本に二
とから三とりの水が給水できるよ
うに、水と木の間を、黒い点滴
のチューブをつないでいます。
十年前にも日本から見学者が訪
れたという農家です。三月頃
には、温度がマイナス三度まで下
がるので、霧の心配があります。
時には霧対策として、木の上か
ら水をさつとかけ花をかいまし
す。花の授粉には、はちを使い
ます。後は、化学物質を使いま
す。その後、手で開引いています。

品質の良い物を
置いている店に
は、行列が出来
て、安くて出品
質の悪い店には
お客がいませ
ん。午後パ
リの郊外のりん
ご農家を視察し
ました。ここで
は、三月月雨が降らない時が
あるので、りんごの木一本に二
とから三とりの水が給水できるよ
うに、水と木の間を、黒い点滴
のチューブをつないでいます。
十年前にも日本から見学者が訪
れたという農家です。三月頃
には、温度がマイナス三度まで下
がるので、霧の心配があります。
時には霧対策として、木の上か
ら水をさつとかけ花をかいまし
す。花の授粉には、はちを使い
ます。後は、化学物質を使いま
す。その後、手で開引いています。



▲ダイアナ碑の前で

八九年からは加
工を始めジャム、

りんご、アップリ
コ、ブルーベリー
十二ヘクタール
の畑があります。
りんごは市場で、
妻と二人それぞ
れ別れて、直売
されている。一九
八九年からは加

りんご、アップリ
コ、ブルーベリー
十二ヘクタール
の畑があります。
りんごは市場で、
妻と二人それぞ
れ別れて、直売
されている。一九
八九年からは加

りんご、アップリ
コ、ブルーベリー
十二ヘクタール
の畑があります。
りんごは市場で、
妻と二人それぞ
れ別れて、直売
されている。一九
八九年からは加

国は違つても、農業にかける情
熱はどこでも同じくがんばって
いるんだと思ひました。研修で
見聞してきたことを動機に村の
活性化に少しでも役立てればと
思っています。

国は違つても、農業にかける情
熱はどこでも同じくがんばって
いるんだと思ひました。研修で
見聞してきたことを動機に村の
活性化に少しでも役立てればと
思っています。

普通の人では、毒になる物
を間違えて飲むようなことは、
ちよつと考えられない事ですが、
好奇心のかたまりである、幼児
など小さな子供達は、手に触れ
る物は何でも口に入れてしま
います。
また、大人でも容器のラベル
が違つていたりとか、暗いところ
で飲んだとか、酔つていたりとか
の場合や、牛乳やジュースの
空き瓶に、消毒液や薬品類を入
れたりしておくと、毒物や薬物
を誤飲する原因となります。
そこで今回は、これら毒物や
薬物を誤飲した場合の処置法な
どを、まとめてみました。

「毒物、薬物の誤飲について」
毒物や薬物の混入事件が全国
的に続発し、世間を騒がせてい
ましたが、私たちが普段、何げ
なく生活している家中や、周
りにも誤飲（誤って飲む）する
と大変危険な毒物や薬物が、た
くさんあることをご存じでしょ
うか。

◆すぐに吐かせる物◆
タバコ・クレヨン・靴墨・

◆すぐに吐かせる物◆
タバコ・クレヨン・靴墨・

◆吐かせてはいけない物◆
●酸（便器用の洗剤等）
●アルコール（漂白剤等）
●ガソリン・灯油・石油製品
●硝酸やアルコールを飲んだときに
吐かせると、のどの粘膜やただ
れた所をさらに傷つけることに
なるので、吐かせてはいけません
。また、ガソリン・灯油などは
揮発性が強いので、気管に入
つてしまう恐れがあり、あつて
肺炎を併発する危険も多いので
注意しましょう。

「気をつけて
はじめはすべて
小さな火」

消防・ネットワイク
火事の救急・救助は一九番

NEWSフラッシュ

沿岸警備訓練実施

金木町警察署・蟹田警察署

近年外国人の密入国事件が広域化していることが問題となつており、そこで金木警察署(署長 伊與部豊)では、蟹田警察署(署長 鎌田幸造)との合同で、市浦地区沿岸警備協力会・上磯地区沿岸防犯協力会の協力を得て、十月二十三日、竜飛岬周辺で沿岸警備訓練を実施しました。

今回参加した会員は「各地域における沿岸防犯協会の活動状況」を聞いたのは非常に有意義であった。これからもいろんな形で両会が協力しながら密入国犯の防止に努めたい」と決意を新たにしています。

今回の訓練は、脇元漁港に見慣れない外国人が上陸し、マイクロバスと普通乗用車に分乗し竜泊ライン方向へ逃走したとの想定で行われ、金木警察署から連絡を受けた各警察署職員が関係機関に連絡すると共に、市浦地区・上磯地区沿岸防犯協力会等の協力を得て自動車検問や山狩りを行い、密入国者を発見・検挙する内容で行われました。また、訓練終了後にも研修会が開催され、活動状況の報告会及び今後の活



▲訓練中の1コマより

第19回

あすを拓くふるさとまつり

第十九回あすを拓くふるさとまつりが十一月一日から三日までの三日間、村コミュニティセンターで開催され、村内外から延べ約三千人が集まり、盛況のうちに終了しました。
ふるさとまつりの様子を写真でご紹介します。

▲初音家生橋師匠による落語と講演会は、巧みな話術で会場は笑いに包まれていました。



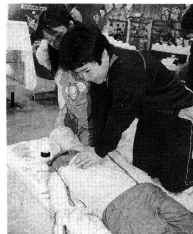
▲「国際交流コーナー」より。今作っているのは「フレンドシッププレスレット」うまくできるかな？



▲市浦村の演劇集団「阿蘇部族」による今年の講演は「津軽の風雲児 三和精一物語」



▲秋田県から「なまはげ」が参上「悪い子はいねがあ〜!!」



▲心臓マッサージはこうやって…日頃の訓練がイザというときに役に立つかも？

緑の船 体験報告

— 村元 宏 禎 —

平成十年九月七日(明)豪華客船「ふじ丸」に三百四十名が乗船し、九月十日(木)までの日程で「緑の船」海上・陸上研修が行われました。

▼九月七日(月)

午後二時より出発式を行い、つづいて名川町の「法光寺」横山住職による講話。内容はJ.Rを退職後、奉仕で毎日無人駅のストップを焚いてくれた人を例に「人生は人思いやる心が大切である」ということを話してくださいました。

出発式・特別講話が終わると、青森市の堤根頭を出航したのが午後四時、むつ湾は波もなく穏やかで、最高の景色でした。これから予定は、ウエルカムデザイナーと交流パーティー。やつと食事にありつけると思い

県内在任の農林水産業、商工観光業等各種産業に携わる青年を対象に「緑の船」が実施されました。これは、本県の豊かな自然(緑)を将来に引き継ぎ、「緑」と共に生きる時代を築いていくことのできる人材育成を目的として、緑と市浦村からは村元宏禎さん、丁子谷さん、宮川恵美子さん、奈良和之さん、中畑圭子さんが参加しました。今回は、九月七日から九月十日までの体験報告をご紹介します。

会場へ向かいました。そこである出来事が私たちを待っていたのでした。「船酔い」です。船が津軽海峡に出た途端、大きく揺れだしたのです。残念なことに

第一の犠牲者は宮川さん、彼女は

このあと部屋で一人、船酔いと闘っていました。私も「明日はが身」と思いこの日は早めに布団に入りました。

▼九月八日(火)

今日の日程は、団長講話と海上セミナー、海上フリートリック。団長講話では、木村知事が少の頃から現在に至るまでの経験をもちに「人生は旅である。自分の人生は自分で築くことあり、そのためには心の師となる人を持つことが大切である」という講話があり、私も大変勉強になりました。

また、海上セミナーでは青森県の農林水産業、文化観光立県に向けての研修でした。セミナー終了後、班ごとに記念撮影があり、酔いどめがきて回復した団員達も参加し撮影、なんと

か旅の記念を残すことができました。

午後のフリートリックでは、め

おこなっていました。船酔いをおこなっていました。

▼九月九日(水)

天気は快晴。初めての船上から見る横浜の街並みは朝日に照らされてとてもきれいでした。船酔いした団員達も今回一番の笑顔を見せ、「やつと船から開放される」と喜んでいました。午前九時、横浜港に到着。今日は三コースに分かれての陸上研修です。私と丁子谷さんは横浜文化散策コースに参加。午前

は横浜自由散策、まだ時間が早かったらしく、商店街も人がまばらでしたが、時間がたつにつれて中華街はツアー客などでぎっわっていました。

昼食後バスで東京アクアラインを通って「海はたる」へ。平日にもかかわらず観光客の多さには驚きました。その日の宿泊先は新宿ヒルトンホテル。船で二日間泊まった

せいか部屋がとて広く感じました。その夜、交流会を行いました。

この日は青森へ向けての移動日、七時に朝食をかねて解散式を行い東京へ出発、盛岡駅に午後二時過ぎに到着し、各方面行きのパスへ乗車し帰路へつく。

▼九月十日(木)

車中、昨晚の疲れのせいか、バスの揺れ心地もよいようで寝ている人が多く静かでした。

「緑の船」に参加してみたいの感想

今回の「緑の船」に参加した私たちの感想を簡単にまとめてみました。

- 「緑の船」に参加し研修で得た多数の仲間や貴重な体験を様々な活動の中で役立てていくつもりです。

村元 宏 禎

- 四日間と長い短い期間ながらも貴重な体験間ながら。

丁子谷 智

- 「緑の船」に参加し思ったことは、揺れなしの船があれなほどいいことだった。乗り物に弱い私の望み、次回から「緑の船」ではなく、

「緑の飛行機」にしてほしいです。宮川 恵美子
●船酔いし、ダウンしたものの、いろいろな人といろんな体験をし、得るものがありました。最後に船旅は今回で最後になります。奈良 和之

最後にこの船に参加させて下さった方々に感謝し、旅の報告を終わりたいと思います。中畑 圭子



▲写真左から丁子谷さん、宮川さん、村元さん、奈良さん、中畑さん

下水道のはなし②

下水道ってなんだろう？

下水がきれいになるまで

私たちが家庭で使ったあとの汚れた水（下水）は、どのようにして、きれいな水となって川や海にもどされていくのでしょうか。

下水は、下水管によって集められ、終末処理場できれいにされます。

(1) 下水管

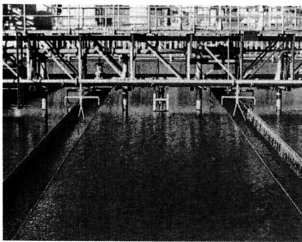
各家庭から出る下水は、下水管に流れこみます。下水管は、道路の下などに埋められていて、下水を下水処理場まで運ぶ役目をしています。下水管には、掃除や検査、修理をするためのマンホールが、ところどころにつけられています。

(2) ポンプ場

下水管は、こう配（かたむき）をつけて

埋められており、下水が自然に流れて運ばれるしくみになっていますが、下水管を埋める場所が地面よりあまり深くならず、

と、ところどころにポンプ場を設けて、下水を浅いところからみ上げ、下水を高いところから、



▶最終沈でん池まで汚れの、約90%以上が取り除かれ、下水は、きれいになります

ふたたびこう配によって、流すしくみになっています。また、ポンプの力を利用して、低いところから高いところへ下水を送ることもあります。このように、ポンプ場を設けることによって、どのような地形のところで、下水がすみやかに流れるように、下水管を埋めることができます。

(3) 終末処理場

下水管やポンプ場を通して終末処理場に運びこまれた下水は、次のようないくつもの施設を通りぬけるあいだに、しだいにきれいな水に生まれ変わってゆきます。

●沈砂池：処理場に運ばれた下水は、まず、沈砂池と呼ばれる池にはいります。下水の中に含まれている大きなごみや砂は、この沈砂池で取り除かれます。

●最初沈でん池：大きなごみや砂を取り除かれた下水は、最初沈でん池にはいります。この池をゆつくりと流れていくあいだに、沈砂池で沈まなかった小さなごみや砂は底に沈んでゆきます。

●エアレーションタンク：最初沈でん池を通った下水は、エアレーションタンクにはいります。バクテリアや原生動物のような微生物の集まりを活性汚泥といいますが、エアレーションタンク

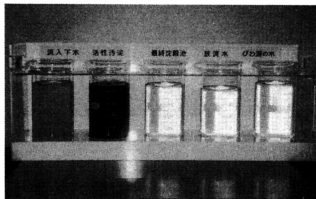
クの中で下水に活性汚泥を混ぜて、空気をふきこみます。すると、活性汚泥と下水はよく混じりあいます。活性汚泥は、ふきこまれた空気に酸素の助けをたぐって、どんどん汚れた水を、しだいにきれいな水に生まれ変わらせます。

●最終沈でん池：エアレーションタンクで、大きなかたまりとなった活性汚泥は、この池で沈められます。

●消毒施設：最終沈でん池の上すみ水を、消毒してから川や海に放流します。消毒には、ふつうブールなどにも使われていた塩素が使われています。

(4) 汚泥処理

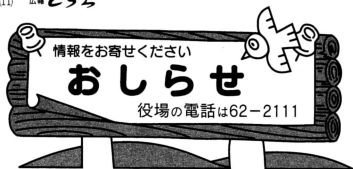
最初沈でん池や最終沈でん池で沈められた、汚れや微生物のかたまりを汚泥といいます。この汚泥は、かき集められた後、水分を減らして（濃縮）発酵させ、それ以上腐らないようにして消化、水をしぼりとります（脱水）。水をしぼりとられた汚泥は脱水汚泥と呼ばれます。その中には、もやされて（焼却）灰になるものもあります。脱水汚泥や灰は、埋めて処分されたり、



▲下水がきれいになるようす

下水道の効果

下水道が整備されると、さまざまな効果が表れます。汚れていた川がきれいになり、サケやホタルがもどってきたという話も全国あちこちで聞かれます。さらに、下水道ができたことでその地域のイメージがよくなるなど、町づくりの上からも、下水道はとても役にたっています。



市浦村の人口と世帯数 平成10.11.2現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,265	1,265	418
桂川	69	68	22
太田	275	276	89
脇元	521	520	196
磯松	311	312	109
十三	801	800	253
計	3,242	3,241	1,087

自衛隊生徒募集のお知らせ

防衛庁では来年度の自衛隊生徒を募集しています。

- ▶受付期間
平成11年1月4日まで
- ▶応募資格
昭和57年4月2日～昭和59年4月1日生れで中学校卒業の男子
(平成11年3月卒業見込みの者を含む)
- ▶試験日程
 - 1次試験
試験日
平成11年1月5日(火)
会場
五所川原市中央公民館
 - 2次試験
試験日
平成11年1月23日(土)～27日
(火)の間の指定する1日

- ▶お問い合わせ先
自衛隊青森地方連絡部五所川原募集事務所もしくは役場総務課まで
- ▶電話番号
35-2305 (五所川原募集事務所)
62-2111 (役場総務課)

個人事業者の消費税の各種届出書は

個人事業者の平成9年分における課税売上高が3,000万円を超えた場合には、平成11年分から消費税課税事業者となり、「消費税課税事業者届出書」の提出が必要です。

そのほか、簡易課税制度の適用を受けようとする場合など各種届出書等の提出の必要な場合があります。

- ▶お問い合わせ先
役場総務課

いよいよ発売開始
ふるさと紹介ビデオ

市浦村商工会(会長 三和芳次)が、市浦村の恵まれた自然や十三湖に関連する歴史等を一元化した形で県内外に広くPRし、村の活性化につなげることを目的としたふるさと紹介ビデオが完成しました。現在有楽町(東京都)にある「全国ふるさと情報館」で上映されていますが、入手を希望される方には、実費相当で販売しております。タイトルは「北のまほろば……津軽半島十三湖」

ビデオの内容は大きく「観光」「産業」「文化」「まつり・イベント」に分かれており、十三湖のしじみ、十三湊遺跡、相内虫送り、十三の砂山、脇元お山参詣などといった市浦村の魅力が詰まっています。

- ▶価格
1本 1,500円
- ▶収録時間
30分
- ▶お問い合わせ先
市浦村商工会
- ▶電話番号
62-2232

知っていますか「なんでも110番」

村では村内各地域に「なんでも110番」の相談員を配置し、地域づくりや行政に対する相談等を受けつけています。どんなことでも気軽にご相談ください。

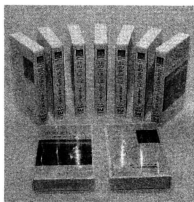
各地域の担当相談員は次のとおりです。

地区名	担当	T E L
相内	成田経済観光課長	62-2749
太田	古川議会事務局長	62-3467
脇元	桑野企画財政課長	62-2374
磯松	松江総務課長	62-2472
十三	中居建設課長	62-3157

県内の交通事故概況

			青森県交通対策協議会	
	10月	累計	死者のうち	高齢者の死者
発生	766件 (795)	6,780件 (6,750)		
死者	14人 (13)	111人 (97)	シートベルト	飲酒運転による死者
				18 (15)
傷者	934人 (940)	8,126人 (8,213)	着用義務者 (着けなければならない人)	着用義務者
				50 (54)
			非着用者 (着けていなかった人)	28 (38)
			着けていれば 助かったと思われる人	13 (19)

()内は前年。累計は1月から。



▲完成したふるさと紹介ビデオ



No.122

「肺ガン」をこうして防ごう!!

現在食生活などの変化により生活習慣病が増えており、それと同時にますます「ガン」の問題も深刻化してきており、ます市浦村の平成十年一月より十月

までの死亡者数二十九名のうち、ガンによる死亡者が八名と約三割となっており、ガンによる死亡者が昨年より目立っている状況です。

医療技術が急速に進歩しているにもかかわらず、末期などのガンは治療ができないという状況にあります。そこで村では、早期発見のために毎年、四月に一日ドックで各種ガン検診を行っています。ほとんどのガンは早期に発見し、治療することで完治してしまいます。また、ガンを早期に発見、治療するか否かは、村の国保財政にも著しい影響を及ぼすこととなります。

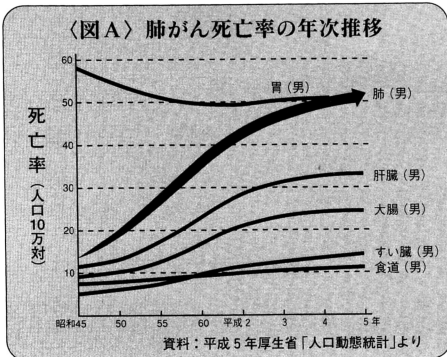
そこで今回から、シリーズでガン予防についての学習していきたいと思っております。

○年々、増加している肺ガン

総合健診などでの早期発見、早期治療により胃ガンや子宮ガンなどの死亡率は年々、減少しています。しかし、肺ガンは図Aのように増加傾向にあり、男性では肺ガンによる死亡率は、第一位となっています。

○定期的な肺ガン検診を!!

〈図A〉肺がん死亡率の年次推移



「ガン」シリーズ①

肺ガンはガンの中でも治りにくいガンの一つです。それは他の臓器への転移する確率が高く、又、発育の速度も早いことが理由にあげられます。しかし、定期的な健診を受けることで早期に発見され、手術などの治療を以上の場合には五年生存率は九十%以上となります。

健診では、胸部X線検査(肺の深部にできたガンを見つける検査)、喀たん検査(肺の入り口付近にできたガンをたんの細胞診で発見する検査)の二つの検査をしていきます。

○肺ガンを予防するには?

肺ガンの発生原因として一番にあげられるのは、タバコです。タバコのタールは肺ガンだけでなく、全身にその害を及ぼす程の発がん物質を含んでいます。また、喫煙者本人だけではなく、周囲の人をも巻きこむこととなります。

同時に重要なことは発がん物質の働きを抑える効果がある、ビタミンA・C・Eを含んだ、緑黄色野菜、緑茶、豆類などを積極的にとることです。

しかし、ガン発生原因がはっきりわからない以上、一次予防と二次予防つまり早期発見、早期治療が最も重要といえるでしょう。



▼お誕生

久保田 竜一(相内) 浩治

▼結婚

- (三) 和 貴道(相内)
- (小) 笠原 良枝(五所川原)
- (佐) 木 信行(青森)
- (成) 田 知行(相内)
- (山) 口 雷太(東京)
- (米) 谷 佳澄(相内)
- (佐) 藤 之紀(横浜)
- (横) 山 くみ子(三浦)
- (福) 田 有(岩手)
- (和) 嶋 徳子(磯松)

▼おくさび

- 大澤 寅一(桂川) 77歳
- 吉田 ちや(相内) 70歳
- 竹谷 美太郎(元) 87歳
- 相坂 舞刀(十三) 73歳
- 中島 喜美子(十三) 32歳
- 葛西 繁藏(協元) 85歳

●しばらくの間「安藤物語」は休ませていただきます。